

あなたはどのひと？

ICLSコースインストラクター熟練度チェックシート

● あなたのICLSコースの熟達度を自己評価してみましょう。

以下の質問の「YES」の数を数えてください。

- 1. コース参加が5回以上だ
- 2. コース参加が10回以上だ
- 3. コースで「いつも会いますね」と言われる
- 4. 他の地域にも支援に行ったことがある
- 5. コースコーディネーター（またはコースディレクター）をやったことがある
- 6. インストラクションやファシリテーションのやり方で困ったことがある
- 7. 知人とコース談義をしたことがある
- 8. シナリオブースのシナリオの組み立てが1人でできる
- 9. ICLSコースガイドブックの、どのページにどの内容が載っているか大体わかる
- 10. 最近コーチングや行動科学、教授システム学などが気になる

● 「YES」の数が…

0～3個

基本を知りたいあなたへ

- ・不安や期待が入り混じった時期だと思います
- ・コースに参加して凹むことも多いかもしれません

そんなあなたには

- ・勇気をもってコースに参加してみてください
- ・コースの仕組みやインストラクターの役割を知っておきましょう



から始めま
しょう

4～7個

レベルアップをめざすあなたへ

- ・コースに慣れ、伝えるポイントもつかめてきた頃だと思います
- ・後進の育成も頼まれることでしょう
- ・自分の目標設定がやりにくくなっているかもしれません

そんなあなたには

- ・学習支援の概念を再確認してみましょう
- ・ICLSを現場で生かす方法を考えてみましょう



から始めて
けこうです

8～10個

チャレンジするあなたへ

- ・ICLSの酸いも甘いもかみ締めているあなた
- ・どのコースでも“指導者”としての役割を求められることでしょう
- ・受講生と直接触れ合う機会が減っているかもしれません

そんなあなたには

- ・あなたの知識、経験を他の人にどんどん伝えてください
- ・世界標準の考え方も吸収し、学習支援に生かしましょう



が特に
お勧めです

このガイドブックの使い方

ICLS 指導者養成のことを隅々まで知りたい方は、最初から順番にお読みください。
状況や自分のレベルに合わせて読みたい方は、以下の順にお読みください。
各項では以下に示すマークでレベルを示しています。



基本を知りたいあなたへ

- はじめて指導者養成ワークショップを受講する予定だけど、時間のない“あなた”へ
 - ⇒ ワークショップの概要や時間割の例を把握しましょう (p.12, 19)
 - ⇒ ICLS コース運営の仕組みを知りましょう (p.12, 19)
 - ⇒ ICLS コースを支えるメンバーの役割を知りましょう (p.12, 25)
 - ⇒ シナリオシミュレーションにおけるインストラクターの役割を知りましょう (p.25)



レベルアップをめざすあなたへ

- 自分の指導を見直して、さらなる学びを得たい“あなた”へ
 - ⇒ ファシリテーションの原則を知りましょう (p.31)
 - ⇒ フィードバックの原則を知りましょう (p.34, 48)
 - ⇒ 双方向性指導とコミュニケーションを知りましょう (p.34, 48)
 - ⇒ 反面教師像を意識しましょう (p.34)
 - ⇒ 課題を分析して、スキルやシナリオの進行を考えてみましょう (p.39)
 - ⇒ 振り返りやディスカッションをすることでICLSを現場で活かしてみましょう (p.44)



チャレンジするあなたへ

- 世界標準の概念を知りたいという、チャレンジする“あなた”へ
 - ⇒ International Board of Standards for Training, Performance and Instruction (ibstpi) の概念 (Instructor Competency) を知り、自分の考え方を整理してみよう (p.48)

本書では随所にAdvanced Tipsとしてさまざまな知識や情報をちりばめています。興味のあるものからお読みになるのもよいかもしれません。

このガイドブックは、さまざまな使い方があります。あなた好みに沿って愛読してください。